

# 「読売」「朝日」新聞を中心とする朝刊に 毎週日曜日に折り込んでいます。

狭山市・入間市・日高市のほぼ全域及び、  
飯能市・川越市・所沢市・瑞穂町の一部に配布しています。  
また、チラッシュにてポスティングも行っています。



埼玉エリア 18	狭山・入間・日高版 90,000 部発行	狭山市・入間市・日高市・飯能市のほぼ全域、および川越市・所沢市・西多摩郡瑞穂町（折込）の一部に配布しております。（読売新聞・朝日新聞・毎日新聞の3紙に折込） （一部チラシによるポスティング）
-------------	-------------------------	--

## 【セールスポイント】

1. 工業団地の多いエリアのため、製造業に従事した経験を持つ熟練者の採用が期待できます。
2. 国道 16 号・299 号・407 号といった主要道路のポイントを考慮し、配布エリアを選定しております。
3. 西武線で東京都心へのアクセスも 40 分～60 分程度と、近隣市町村だけでなく都心部への人材確保も可能です。

## 【このエリアの特性】

古くは特産物「狭山茶」により、農業エリアというイメージが強くありましたが、現在は本田技研工業狭山工場を中心に、各地に大企業の大型工場が進出し、製造業の発達したエリアへと変化を遂げてきました。狭山市・入間市の人口は各 15 万人前後ですが、数多くの工業団地が点在しており、埼玉県内有数の工業エリア（狭山市は工場製造品出荷額県内 2 位）となっております。圏央道は入間 IC・狭山日高 IC があり、物流の拠点としても新倉庫の建設が進んでおります。入間市には大型アウトレットモールの出店により、商業施設も充実してきました。緑豊かな地域の飯能市には「ムーミン」のテーマパークが 2017 年開業予定となり、今後は観光地としての発展も予想されるエリアです。

### ※隣接する版と同時利用で、より効果的な募集に！

隣接版は川越周辺版、所沢周辺版、坂戸・鶴ヶ島・川越西版、青梅・あきる野・瑞穂周辺版となっております。県内の人口密集地（川越市・所沢市）や東京都西部地区（青梅市・西多摩郡瑞穂町）とも隣接しているため、十分通勤エリアとなります。

## 【他紙との比較（当版の特徴）】

主要道路や鉄道沿線の通勤可能なエリアを考慮し、広域に配布しております。